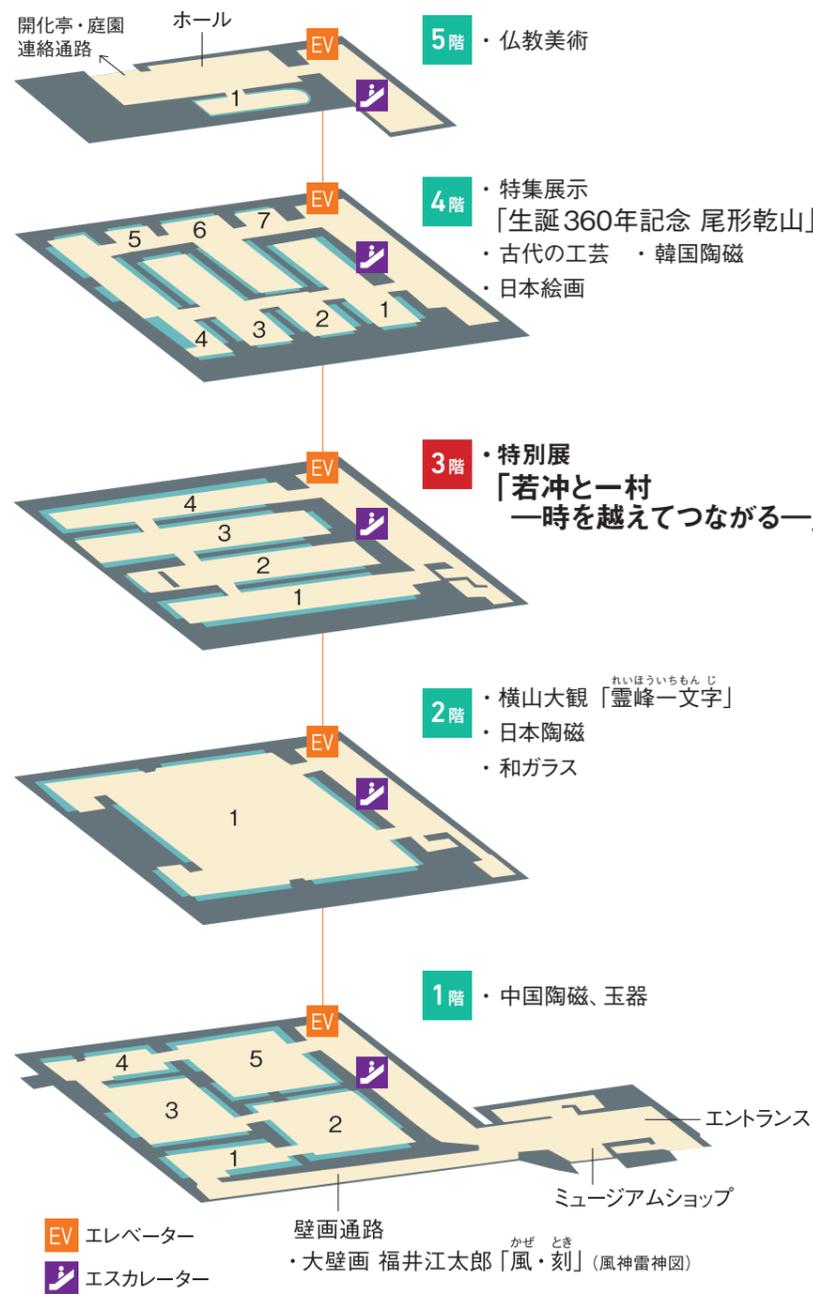


常設展示のご案内

岡田美術館は全5階、展示面積約5,000㎡の館内に、常時約450点の美術品を展示しています。



5階展示室
重要文化財「木造薬師如来坐像」をはじめ、仏像や仏画、密教法具など祈りの世界をご覧ください。



中央「木造薬師如来坐像」平安時代 11世紀 重要文化財
左右「木造二天王立像」平安時代 10～11世紀

4階展示室
2023年に生誕360年を迎える尾形乾山のやきもの19件と絵画2件を一室に集め、京焼を大きく発展させた乾山焼と、晩年に描いた絵画の魅力を紹介いたします(第1・2室)。そのほか土偶・埴輪・青銅器など古代の工芸、韓国陶磁、日本絵画の名品などを展示。



尾形乾山「夕顔・楓図」
江戸時代 元文5年(1740)頃



尾形乾山「色絵竜田川文透彫反鉢」
江戸時代中期 18世紀 重要文化財

1階展示室
中国の陶磁器と玉器(一部に韓国・日本の陶磁器)を展示。とりわけ中国歴代の陶磁器が質・量ともに充実しています。



「青花アラベスク文双耳扁壺」
景德鎮窯 中国・明代 永楽年間(1403～24)



「色絵竹虎文大皿」
有田・古九谷様式 江戸時代前期 17世紀中頃

2階展示室
古九谷、鍋島、柿右衛門といった肥前磁器や野々村仁清の京焼など日本のやきものと、カラフルな和ガラスをご紹介します。

次回展予告 開館10周年記念展 第2部 歌麿と北斎 — 時代を作った浮世絵師 — 2023年6月11日(日)～12月10日(日)
※会期は変更になる場合があります。

アクセス

〈電車・バスをご利用の場合〉

新宿駅から
小田急線(特急ロマンスカー)■約90分→箱根湯本駅
①伊豆箱根バス(のりば①)・箱根登山バス(のりば②)■約20分→小涌園
②箱根登山鉄道■約35分→小涌谷駅 伊豆箱根バス・箱根登山バス■約2分→小涌園

東京駅から
東海道新幹線「こだま」■約35分→小田原駅
伊豆箱根バス(のりば⑤)・箱根登山バス(のりば③)■約40分→小涌園

強羅駅から
施設めぐりバス■約5分→小涌園



〈お車をご利用の場合〉※所要時間は、交通状況によって大きく異なります。

東名厚木IC ▶ 小田原厚木道路 ▶ 箱根IC ▶ 国道1号線 ▶ 岡田美術館【約60分】
東名御殿場IC ▶ 国道138号線 ▶ 宮ノ下 ▶ 国道1号線 ▶ 岡田美術館【約40分】

10th 開館記念展 Anniversary 第1部

2022 12 25 日

↓

2023 6 4 日

休館日
12月31日(土)
1月1日(日)



若沖と一村

時を越えてつながる

10th Anniversary Exhibition Part 1: Jakuchū and Isson —Transcending Time—

岡田美術館
OKADA MUSEUM OF ART

バス停 「小涌園」より 徒歩すぐ

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 一般・大学生 2800円(2550円) 小中高生 1800円(1550円)
※()内は前売り料金。前売券(JTBレジャーチケット、チケットぴあ)は主要コンビニエンスストア並びにチケットぴあにて販売
※団体割引(10名以上)・障害者割引あり/※美術館ご利用の方は、駐車場・足湯入湯料無料
※展示内容や各種イベントを変更する場合があります。ご来館前に当館ホームページにて最新情報をご確認ください。

〒250-0406 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷493-1
TEL: 0460-87-3931 (代表)
www.okada-museum.com

いとう じゃくちゆう
伊藤若冲 (1716~1800)

京都高倉錦小路の青物問屋の長男として生まれる。家業のかたわら狩野派の絵師に学び、中国画の模写へと進み、やがて生き物を写すようになったという。数え年40歳のとき隠居し、絵に専念する。冥利を好まず、描くことに心力を尽くす一方、禅に傾倒して仏教信者として生き、当時には稀な85歳の長寿を全うした。鮮麗で緻密な着色画と軽妙洒脱な墨絵の双方に優品を残す。

10th 開館
記念展
 Anniversary
第1部

若冲と一村

時を越えてつながる

10th Anniversary Exhibition
 Part 1: Jakuchū and Isson –Transcending Time–

たなか いっそん
田中一村 (1908~77)

現在の栃木市に彫刻師の長男として生まれ、5歳のとき東京に移る。17歳で東京美術学校(現東京藝術大学)に現役合格するものの2か月余りで退学し、独学で制作を続ける。29歳から千葉で暮らしたのち、50歳のとき奄美大島に単身で移住し、亜熱帯の生き物を題材に描いた。画壇から離れ「私の良心を納得させる為に」描いた絵が、多くの人々に感動を呼び起こしている。



伊藤若冲「花卉雄鶏図」 江戸時代中期 青物問屋の主人を務めた時期の初期作。



伊藤若冲「孔雀鳳凰図」 江戸時代 宝暦5年(1755)頃 重要美術品 家業を弟に譲り画業に専念した数え年40歳頃の大作。大名家の旧蔵品。



伊藤若冲「月に呱呱鳥図」 江戸時代中期 吉祥の鳥ハハチョウが鳴きながら急降下。

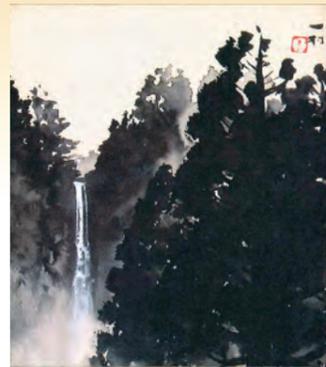


田中一村「熱帯魚三種」 昭和48年(1973) ©2022 Hiroshi Niiyama 亡くなる4年前、65歳の一村が示した新境地。

10周年の感謝をこめて
お誕生日 ペア特別ご招待!

誕生日当日のご本人様と同伴者1名様まで無料

※10周年展第1部・2部会期中のみの実施となります。
 ※受付にて身分証明書をご提示ください。



田中一村「瀑布」 昭和30年(1955)頃 ©2022 Hiroshi Niiyama 「墨画の近代化」を目指した一村の墨絵に注目。



田中一村「あざさい」 昭和30年(1955)頃 ©2022 Hiroshi Niiyama 一村が好んだ「荒ツボイ表現法」のアジサイ図。



田中一村「白花と赤翡翠」 昭和42年(1967) ©2022 Hiroshi Niiyama 奄美大島で絵に専念した幸福な3年間の最初の頃の作品。

2023年秋に開館10周年を迎える岡田美術館では、これまでの展覧会においてとりわけ人気の高かった画家4人を選び、2人ずつ2部に分けて展覧会を開催します。

第1部では、江戸時代の伊藤若冲と昭和時代の田中一村。いずれも、近年、人気が急上昇した画家です。生涯独身を通し、描くことだけを生き甲斐として制作した2人は、写生を徹底したことや、あでやかな彩色、画面に行き渡る緊張感など、作風においても似通う点が認められます。このような生き方・作品の全体を通

じ、当館館長・小林忠は、一村を「昭和の若冲」と称しています。本展では、若冲が精力的に描いた30代末頃~40代の着色画と、一村の奄美大島在住時代の代表作、それぞれの墨絵、同じ種類の鳥を描いた絵など、2人の絵をさまざまに組み合わせ展示します。若冲7件・一村7件の作品を中心に、関連画家の作品、伝統的な花鳥画の屏風絵などを併せた約40件の多彩な展示をお楽しみください。

※若冲の1件「雪中雄鶏図」の展示期間は3/10~6/4。一村の2件は個人蔵、他は当館蔵。



伊藤若冲「三十六歌仙図屏風」 江戸時代 寛政8年(1796) 尊い歌人たちが遊んだり料理をしたり。若冲81歳、最晩年の傑作。



伊藤若冲「三十六歌仙図屏風」 江戸時代 寛政8年(1796) 尊い歌人たちが遊んだり料理をしたり。若冲81歳、最晩年の傑作。

会期中のイベント 参加無料(要入館料) ※定員あり

※各イベントは変更または中止する場合があります。ご来館前に当館ホームページにて最新情報をご確認ください。

文化振興プログラム★

大壁画「風・刻」(風神雷神図)作者 福井江太郎氏
 トークとライブペインティング 第3弾

5月13日(土) 午後1時~午後3時

- 小林館長のスライドトーク「金地の絵画」
- 福井江太郎氏と小林忠館長の対談
- 福井江太郎氏のライブペインティング

2020年8月29日 大壁画「風・刻」の前で行われたライブペインティングの様子 撮影・橋本憲一

講演会★ 講師：小林 忠 (岡田美術館 館長)

伊藤若冲と代表作「動植綵絵」の完成とその後
 3月25日(土) 午後1時~午後2時30分

昭和の若冲と田中一村
 4月22日(土) 午後1時~午後2時30分

★申込方法
 電話にてお名前・人数・ご連絡先をお知らせください。定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。

電話番号：0460-87-3931

◆館長によるギャラリートーク
 1月5日(木)・26日(木)、2月9日(木)・24日(金)、3月9日(木)、4月6日(木)、5月25日(木)
 ※いずれも午後1時30分~

◆学芸員によるギャラリートーク
 1月6日~5月19日 ※毎週月・水・金曜日 午前11時~
 月曜：尾形乾山 水曜：中国陶磁または日本絵画 金曜：若冲と一村

関連講座 講師：小林 優子 (岡田美術館 主任学芸員)

若冲・一村の生涯と作品
 4月8日(土) 午後1時~午後2時30分

関連スライドトーク 講師：塩谷 尚子 (岡田美術館 学芸員)

やきもの鑑賞ガイド 一尾形乾山編
 3月18日(土) 午後1時~午後2時 ※申込不要